

# # エイトリックアート 八王子の盛況を目指して

チーム Route802

河谷和広<sup>1)</sup>, 高柳将希<sup>1)</sup>, 中川侑大<sup>1)</sup>, 丸山航<sup>1)</sup>  
指導教員 永見 豊<sup>1)</sup>

拓殖大学 工学部 デザイン学科 シビックデザイン研究室

本企画では、遊びに来る場所としては微妙な印象を持たれている八王子市が魅力を向上させてたくさんの人々が訪れたい観光地として変貌を遂げることを目的とする。そのために「写真に収めたい」「行ってみたい」気持ちを沸かせる魅力を持ち、SNSの拡散・宣伝力といった特徴を活かすべくトリックアートという手法を用いて、地元美術系大学やデザイン学校と協力をし合っってオリジナルの絵を描き、その設置を提案する。

キーワード：トリックアート、SNSの活用、知名度向上、コミュニケーション、観光

## 1. 動機

近年の若い人たちにとって八王子市にわざわざ観光や遊びに来るための動機が見出しにくい。その要因としては、目新しい施設やアミューズメントパークなどの独自の魅力をアピールできるような場所が無いからだ。強いて言うと高尾山があるのだが、この高尾山へ行くためだけでは八王子市へ遊びに行く、または観光に行くというきっかけとしてはパンチが弱いと思われる。八王子市へ行くための魅力をもっと引き出していかなければ八王子市への若い人の集客増加が望めないと考えた。ならばアミューズメントパークや大きなショッピングモールなどの施設を作ろうといった考えを思いついても莫大な費用と、もし人が想定よりも全然来なかった場合のリスクが大きすぎてとても現実的ではない。

そこで、私たちは八王子市の街中にトリックアートを設置すれば、八王子市の集客効果に加えて宣伝効果、魅力の増加につながるのではないかと考えた。

## 2. 先行事例

実際に、トリックアートを使った集客効果を狙った取り組みは存在する。鹿児島県の鹿児島市にある一番町商店街では、迫力のある恐竜や海の生き物のクマノミなどのトリックアートを総数10

点ほど描き、シャッター街になりつつあった商店街の活気を取り戻し盛り上げるための取り組みを行っているので実現の可能性は高い。



鹿児島県鹿児島市一番街商店街

(出典) <http://www.syoutengai-shien.com/news/201710/06-1.html>

## 3. 提案内容

本提案では、八王子市ならではの、そして写真に収めてSNS等のメディア媒体に載せてもらえるようなトリックアートを通称「#エイトリックアート」(八王子とトリックアートを組み合わせた造語)と名付け、人の集まりやすい場所に設置することを提案する。

なぜ、トリックアートという手法を思いついたのかという理由は大きく3つ存在する。第一に、トリックアート自体の持つ魅力である。これはトリックアートを見ると思わず写真に収めたく

なる気持ちが引き起こされたり、テレビや SNS・インターネットで面白そうなトリックアートを見ると行ってみたくなったりする効果がある。次に、広告機能としての可能性である。トリックアートで撮った写真が Twitter や Facebook、LINE や Instagram 等の SNS に投稿されることは多くあり、その写真の投稿を見て、理由の 1 番目に説明したように新たに八王子市へ来たくなるような人が現れたりするきっかけづくりになる。つまり、広告費を使わずとも来訪者に広告をしてもらえるのだ。最後に、トリックアートの絵による八王子のアピールである。トリックアートの世界観に八王子市を沸騰させる施設や景色を取り込めば、八王子市の特徴を表現できる上にたくさんのアイデアを反映できる利点がある。

テーマとしては、「現実の世界観にある非現実的な体験」で、八王子の街の要素を絵に取り入れつつ、実際には体験することができないことを写真だといとも簡単にできてしまっているような様子を表現した絵にして人通りの多い目の付く場所に設置したいと考えている。

絵を描くにあたって、ただペインターに頼むのではなく、せっかく八王子で提案する企画なので地元美術系・デザイン学校に通っている学生たちに協力してもらって上記のテーマに沿った絵を提案しあって八王子に関わる人たちでの活動にしていきたい。



スケール感と没入感の味わえる斬新な絵

(出典) ART DISCOVER

<http://www.artdiscover.com/en/news/francois-abelanet-creates-the-worlds-largest-3d-street-art-piece/211>

#### 4. 八王子市への提案

エイトリックアートを設置するためにも八王子市には、以下の3つのことにご協力いただきたいと考えている。まず1つ目はトリックアートを描く場所の提供。例として高尾山口駅、TAKAO599MUSEUM 前、八王子駅南口ペデストリアンデッキ、高尾駅南口、高尾山の山頂や山頂に至るまでの道中である。このような多くの人の集まりやすい場所はトリックアートの効果を発揮するのに適切だと考えているからだ。2つ目は地元美術系大学やデザイン系専門学校の方々と協力をするためにこれらの学校と交流する機会、場所の提供をしていただきたいと考えている。3つ目はトリックアート製作・設置に至る費用の支援をお願いしたい。

#### 5. 最後に

以上の八王子市や地域の人々、地元学校の協力のもと、八王子市の魅力を上げるため、この「#エイトリックアート」を成功させたいと強く願う。